

大阪探検隊

Osaka City Expeditionary party

「ドリームタンカー 見学クルーズ」

9月3日、大阪天保山岸壁で開催された「ドリームタンカー見学クルーズ」に行ってきました。



テレビや新聞でも報道されていましたが、大阪ガス創業 100 年を記念し「天然ガスドリームタンカープロジェクト」として開催したものです。

画家・ジミー大西氏と 40 人の子供たちのアート作品で 4 つのタンクを彩った、世界最大級の天然ガスタンカーです。

「天然ガスドリームタンカープロジェクト」の詳細
<http://www.dreamtanker.net>

【ドリームタンカー基本スペック】

- 全長 : 289.5 m
- 幅 : 49.0 m
- LNG タンク : 独立球形 (モス型) タンク x 4 基 (最大積載重量 6.8 万トン)
- 総トン数 : 120,700 トン
- 航海速度 : 19.5 ノット

天然ガスは、石油に比べ CO₂ が 6 割、NO_x が 4 割、SO_x はゼロと、非常にクリーンなエネルギーとして注目されていますが、そのまま長距離を運搬することは効率的ではありません。マイナス 162℃以下に冷却した液化天然ガス (LNG) として運搬することになります。

ドリームタンカーは川崎造船坂出工場で造船されたばかりで、タンクには何も入っていません。一度、LNG を入れてしまうと危険物ですから、一般港には入港することができません。従って、身近に見ることができるのは最初で最後とのことです。

天保山ハーバービレッジ側から見ると、その巨大に度肝を抜かれる。





正面から見たドリームタンカー

巨大絵画（ジミー大西氏）

ジミー大西氏による巨大絵画、「魚」「かに」「えび」「亀」は、それぞれ春・夏・秋・冬のコンセプトで構成され、ラッピングバスや飛行機と同じようにフィルムに印刷されたものです。

船上に足場を設け、張り合わせるわけですが、タンクは曲面ですから、ひとつひとつのフィルムは地球儀の展開図のように、やや先細りのやや舟形の形状となります。作品の総面積は、なんとサッカーコートの上の倍以上、約 4000 m²もあり、現在製作を担当した住友スリーエムからギネスブックに申請中だそうです。



ドリームタンカーは天保山栈橋を離岸し、消防艇のカラー放水や我々を乗せた見学クルーズ船が併走する中、大阪港を出港していきました。

この後、ドリームタンカーは日本-オーストラリア間を就航することになっているそうです。

写真左) 消防艇のカラー放水
写真下) 大阪港を出港するドリームタンカー

